

宮城県沖および宮城県北部を震源とする地震における災害情報ネットワークの活動報告

武田稔男^{1*} 吉田豊彦^{1*} 森上辰哉^{2*} 申 曾洙^{3*} 杉崎弘章^{4*}

要 旨

平成 15 年 5 月 26 日と 7 月 26 日に、宮城県沖と宮城県北部を震源とする震度 6 を超える地震が発生した。災害情報ネットワークでは、電子メール、ホームページ、FAX など情報を収集した。幸いにもこの地震で直接患者さんの生命や、職員の方々、施設に大きな被害はなかったが、一時透析不能または中止して翌日の治療を余儀なくされた施設や、施設の部分破損、一時的な停電、ガスの使用が不能となるなどの被害が生じた。

はじめに

(社)日本透析医会では、災害に迅速かつ適正に対処するための情報収集手段として、災害情報ネットワーク(以下情報ネット)が組織されており、本部がみほま病院(千葉)、副本部は元町 HD クリニック(兵庫)、各都道府県透析医会より推薦された医師、臨床工学技士の施設を支部として構成されている。

情報ネットでは発災時、「被災したらまずなにもできないものと考え周辺施設が積極的に支援する」「支援施設・被災施設に対する後方支援を充実する」ことが重要と考え、都道府県を単位とした地域での災害対策確立とともに、被災地周辺施設からの情報をリアルタイムに収集・集計するため、インターネット上のホームページに、CGI プログラムを利用した情報収集機能と自動集計機能を組み込んだシステムや、メーリングリストなど電子メールを利用したネットワーク構築

を進めている(図 1¹⁾, 2)。ここで得られた情報は、厚生労働省など公共機関へも報告され、情報、水、医薬品などの提供・要請が行われることになっている(図 3)⁶⁾。

以上の現況下、平成 15 年 5 月 26 日 18 時 24 分頃、宮城県沖を震源とする震度 6 弱の地震、7 月 26 日には、宮城県北部を震源とする震度 6 弱 2 回、6 強 1 回の地震が発生した。この地震により、幸いにも直接患者さんの生命や、職員の方々、施設に大きな被害はなかったものの、5 月 26 日の地震では、一時透析不能または中止して翌日に治療を行った施設が 3 施設、施設の部分破損が 4 施設のほか、一時的に停電やガスの使用が不能となるなどの被害が生じ、7 月 26 日の地震では、2 施設で一時的な停電の被害を受けた。

大きな揺れに対する院内での対応に追われ、かつ一時電話が不通になるなど大変なご苦労があったものと推察される。ここで、被災された方々にお見舞い申しあげるとともに、この地震による被害、情報ネットの対応などについて報告する。

1 地震の規模と被害状況^{2, 3)}

1) 平成 15 年 5 月 26 日

18 時 24 分頃に発生した地震は、震央が宮城県沖、震源の深さが 71 km、規模を示すマグニチュードは 7.0 (暫定) と発表された。

震度 6 弱を観測したのは、岩手県の大船渡市、衣川村、平泉町、室根村、江刺市、宮城県の高清水町、桃生町、石巻市、涌谷町、栗駒町、金成町。震度 5

(社)日本透析医会医療安全対策委員会 1* 災害時透析医療対策部会災害情報ネット本部 2* 同副本部 3* 災害時透析医療対策部会部会長 4* 医療安全対策委員会委員長

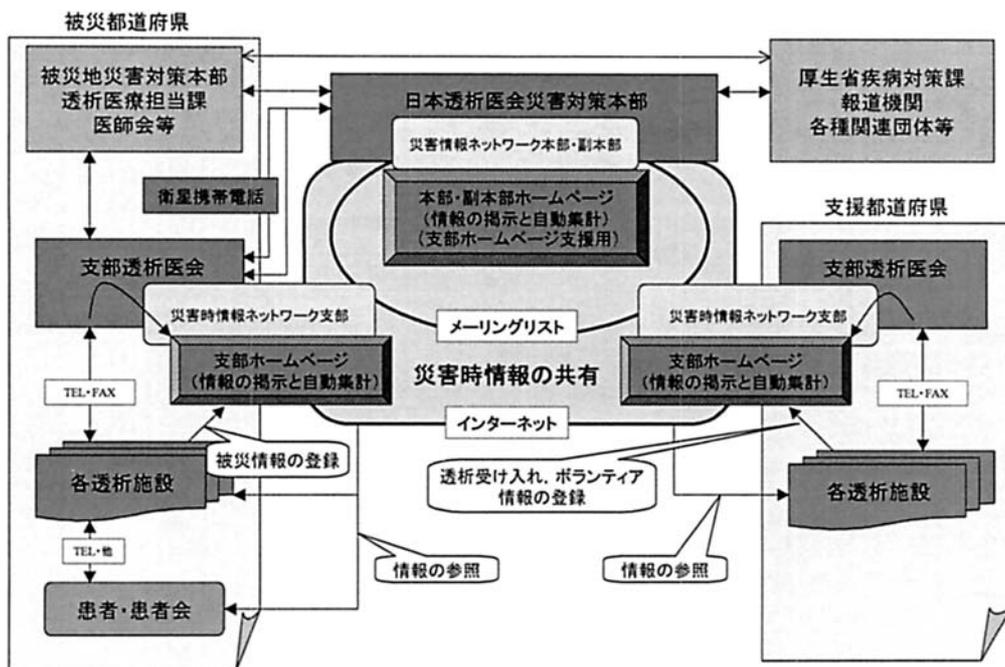


図1 災害情報ネットワークシステム¹⁾

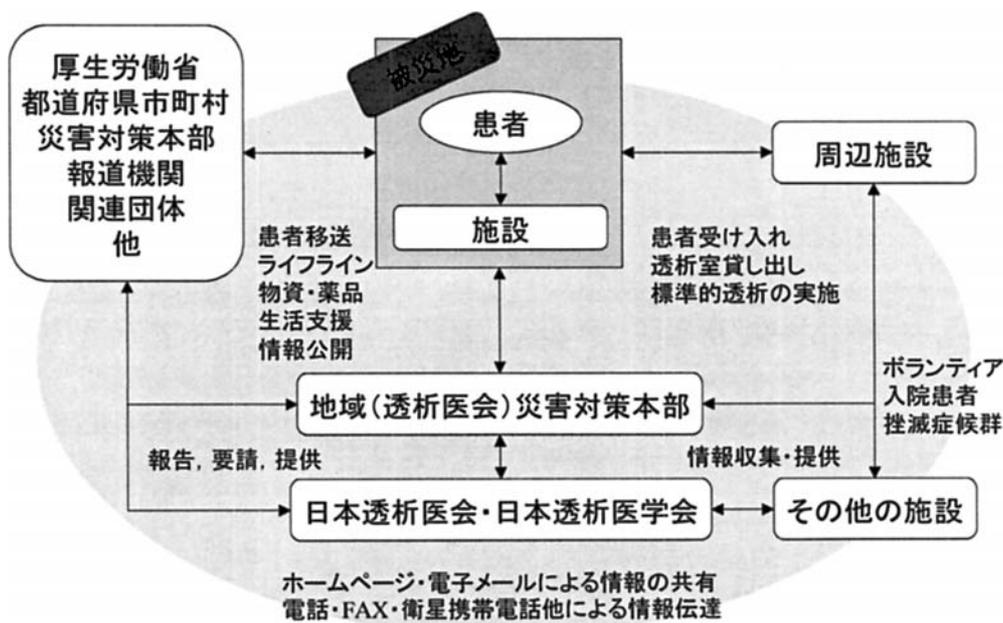


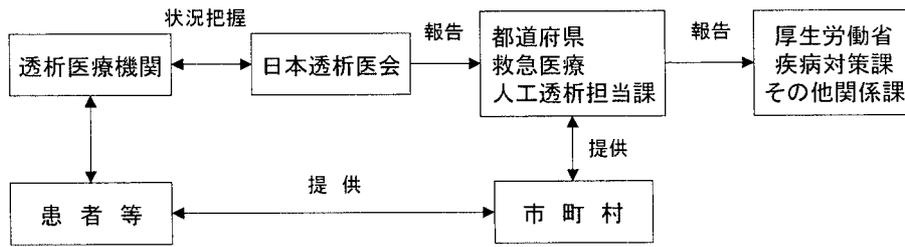
図2 災害時対応概略

強も青森県，岩手県，宮城県，山形県，秋田県の5県に及び，その揺れは関東地方でも長い横揺れとして感じられた。

この地震で，負傷者171名（重傷22名・軽傷149名），火災発生4件（岩手県1件，宮城県3件），住家被害では，全壊2棟，半壊8棟，一部破損1,427棟，床下浸水1棟の被害があった。ライフラインの被害は，約35,000戸で最大約3時間半停電し，水道

管が破裂するなどして断水した世帯は最大時で宮城県が約2,500戸，盛岡で1,700戸であった。また，地震発生直後から東北6県への有線電話が通じにくい状況となり，携帯電話についてはNTTドコモ，NTTドコモ東北が午後6時30分すぎから，東北地方の携帯電話への音声通信を75%規制，東北地方から発信される携帯電話を使った通信も音声，iモードともに87.5%規制した。その後規制は徐々に解除さ

○情報収集及び連絡



○水、医薬品等の確保

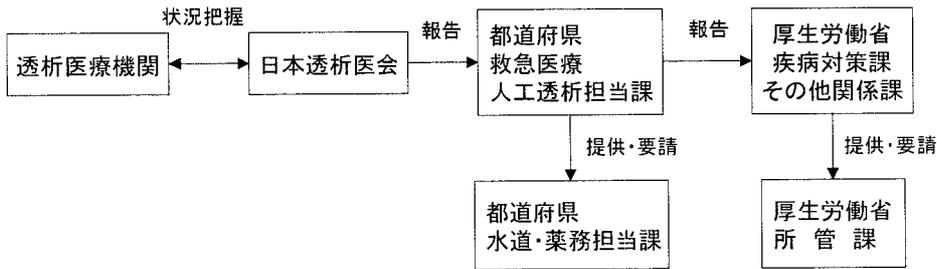


図3 厚生労働省防災業務計画—人工透析の提供体制⁶⁾—

れ、午後11時46分ごろまでには解消されたと報道されていた。

2) 平成15年7月26日

この日の地震はすべて宮城県北部を震央とし、震源の深さ約12kmで発生した。0時13分頃の地震は、マグニチュード5.5、宮城県鳴瀬町、矢本町で震度6弱、7時13分頃の地震は、マグニチュード6.2、宮城県矢本町、南郷町、鳴瀬町で震度6強、宮城県涌谷町、河南町、小牛田町、桃生町、鹿島台町などで震度6弱であった。16時56分頃の地震は、マグニチュード5.3で、震度6弱は宮城県河南町などであった。

この地震による被害(8月12日現在)は、宮城県で負傷者674名(重傷50名・軽傷624名)、山形県で負傷者2名(軽傷2名)の、負傷者計676名(重傷50名・軽傷626名)であった。火災発生件数は宮城県で3件、住家被害全壊533棟(宮城県533棟)、半壊1,339棟(宮城県1,339棟)、一部破損7,189棟(宮城県7,188棟・岩手県1棟)の計9,061棟であった。また避難した方は7月27日に最多の3,059名であった。断水は13,925戸に発生し、30日4時00分全戸復旧した。停電は100,000戸に発生し、26日23時15分全戸復旧した。なお電話回線の被害、ガスの被害はなかった。

2 透析施設情報と情報ネットの対応

1) 5月26日宮城県沖地震の透析施設情報

情報ネットでは電子メール、ホームページ、FAXなどで情報収集を行った。特に揺れの大きかった岩手県、宮城県の状況を表1に示した。集計対象は、情報提供をいただいた岩手県34施設中18施設、宮城県39施設中25施設の計43施設であった。なお、5月28日までにホームページの集計システムに掲載された情報の全文を文末資料に示した。

2) 情報ネットの対応

5月26日宮城県沖地震における情報の流れを図4に示す。情報登録へ向けた呼びかけは、ホームページ、メーリングリスト、岩手県・宮城県の各施設へのFAX(図5)、日本臨床工学技士会のメーリングリストへ送信された。また、厚生労働省保健局疾病対策課からは、日本透析医学会、東北6県の難病対策担当課、東北厚生局保健福祉課あてに、人工透析の提供体制に関する文書(表2~4)と、全国腎臓病協議会あてにホームページの集計結果がFAXにより伝達された⁴⁾。情報ネットにおける主な対応を以下に示す。

表 1 5月26日宮城県沖地震の透析施設情報

<p>1. 一時透析不能または中止 (3 施設)</p> <p>岩手県</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝久会地ノ森クリニック 透析液供給装置使用不能. 翌日代替透析施行. ・新里医院 (後日ご報告いただき判明) 院長の判断で中止. 翌日代替透析施行. <p>宮城県</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泉黒澤クリニック 2 時間前後で透析中止. 翌日代替透析施行. <p>2. 施設部分破損 (4 施設)</p> <p>岩手県</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽山会せいてつ記念病院 ・岩手県立遠野病院 ・後藤医院 <p>宮城県</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立気仙沼総合病院 <p>3. 停電 (1 施設)</p> <p>岩手県</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽山会せいてつ記念病院 <p>4. ガスの使用不可 (2 施設)</p> <p>岩手県</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小原クリニック <p>宮城県</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多賀城腎泌尿器クリニック 	<p>5. CAPD 患者の被災 なし</p> <p>6. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時優先電話が連絡に役立った. ・エレベーターが緊急停止した. ・病院からの通話は可能であったが, 一般回線が不通であったため本院への連絡が一時途絶えた (18:35 から約 2 時間). E-mail は通常通り使用できた. 携帯電話は, NTT 東北 (ドコモ) が 75% を遮断したためほとんど使用できず. <p>7. 透析要請</p> <p>幸いにも代替透析要請が必要であった施設は無く, したがって下記「被災施設に対する支援情報」に基づいた支援要請も行っていない.</p> <p>8. 被災施設に対する支援情報</p> <p>透析室貸出可能床数 (124 床)</p> <p>岩手県 62 宮城県 62</p> <p>透析受け入れ可能数 (延べ 535 床)</p> <p>岩手県</p> <p>5月27日 52, 5月28日 57, 5月29日 65, 5月30日 8</p> <p>宮城県</p> <p>5月27日 126, 5月28日 102, 5月29日 125</p> <p>ボランティア派遣可能数 (37 名)</p> <p>医師 3, 臨床工学技士 13, 看護婦 21</p>
--	--

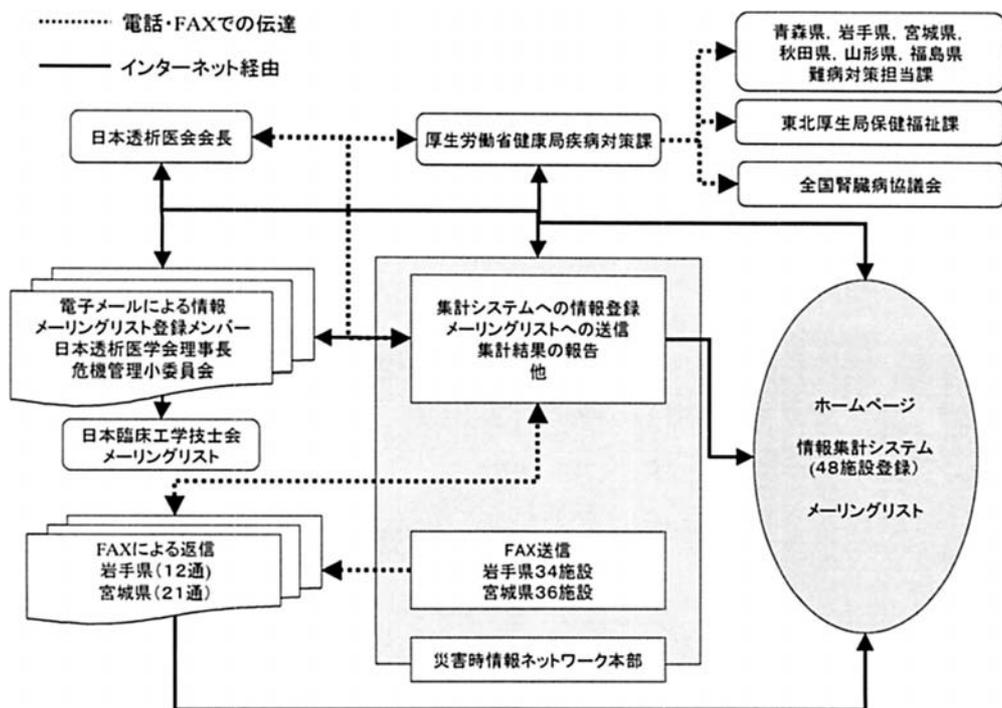


図 4 情報の流れ

(社)日本透析医学会災害時情報伝達FAX用紙

透析室ご担当者様

(社)日本透析医学会では現在、災害に対する情報を収集しています。
 本FAXに状況を記載してご返送いただくか、下記URLへ情報登録をお願い致します。
 この情報は、(社)日本透析医学会災害時情報ネットワークのホームページに記載され、被災状況および非被災施設からの支援情報を、共有するために使用します。
 また、状況に変化があった場合にはその都度ご連絡いただければより現況の把握が正確になります。
 ご理解とご協力をお願いいたします。

このFAXは透析を行っている病・医院様あてに送信しております。万一誤ったFAX番号のためにこの用紙を受信された場合は、誠に申し訳ありませんが間違いであることを記載の上ご返信いただきますようお願い申し上げます。

報告日時(実際にはコンピュータに登録した時点の日付が入ります)		
県名をご記入ください		
施設名		
担当者名		
被災状況	建物、透析装置等 (複数選択可) 該当の□にシ印を付けてください	<input type="checkbox"/> 施設部分破損 <input type="checkbox"/> 施設半壊 <input type="checkbox"/> 施設全壊 <input type="checkbox"/> 停電 <input type="checkbox"/> 断水 <input type="checkbox"/> ガスの使用不能 <input type="checkbox"/> 透析液供給装置使用不能 <input type="checkbox"/> 末端装置使用不能 <input type="checkbox"/> 個人用装置使用不能 <input type="checkbox"/> 水処理装置使用不能 <input type="checkbox"/> その他の機器被災
主な不足物品	ダイアライザ	人分
	血液回路	人分
	透析液原液	人分
透析室貸し出し可能		床
透析受け入れ可能	本日	人
	明日	人
	明後日	人
透析要請	本日	人
	明日	人
	明後日	人
患者移送手段 ○で囲んでください		移送不要 一般車 救急車 警察車両 自衛隊車両 病院車 船舶 航空機 移送手段なし
ボランティア派遣可能	医師	人
	臨床工学技士	人
	看護師	人
その他の不足物品や連絡事項等 (復旧に一番必要な物)		

(社)日本透析医学会災害時情報ネットワーク
 みはま病院ME部武田稔男
 FAX 043-278-4455
 ホームページは <http://www.hf.rim.or.jp/~to-ikai/>

図5 災害時情報伝達 FAX 用紙

① 5月26日(月)
 18時24分頃

地震発生。情報ネット本部である千葉市みはま病院でも比較的大きな揺れを感じ、夜間透析施行中の患者に対し一時除水速度と血液流量を下げる処置を行った。揺れが治まるのを待って、再び元の設定に戻してからテレビのスイッチを入れたところ、仙台

市の民家で火の手が上がる映像が飛び込んできた。震度5をはるかに超えるものであると推測された。

18時36分

メーリングリストとホームページに情報収集の開始を伝達。

18時45分

地震の規模と各地の震度状況を、本部において日

表 2 厚生労働省の対応 (1)

平成 15 年 5 月 26 日

日本透析医会 御中

厚生労働省健康局疾病対策課

東北地方を中心とした地震に関する人工透析の提供体制について

本日、18 時 24 分頃、宮城県沖を震源とした地震が発生したところであるが、人工透析の提供体制について、既に災害時情報ネットワークを通じて対応して頂いているところではありますが、引き続き、万全の体制を確保して頂くようお願い申し上げます。

また、厚生労働省への情報提供等方引き続きよろしくお願い致します。

なお、別添のとおり関係自治体へ連絡を行ったところであり、参考送付致します。

担 当

厚生労働省健康局疾病対策課

電 話：03-3595-2249

FAX：03-3593-6223

担当者：菊岡課長補佐（技）、床枝係長（事）

表 3 厚生労働省の対応 (2)

平成 15 年 5 月 26 日

青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県 難病対策担当課 御中

厚生労働省健康局疾病対策課

東北地方を中心とした地震に関する人工透析の提供体制及び難病患者等への医療確保体制について

本日、18 時 24 分頃、宮城県沖を震源とした地震が発生したところであるが、人工透析の提供体制及び難病患者等への医療の確保体制については、厚生労働省防災業務計画（別添参照）によることとしているので、日本透析医会災害時情報ネットワークの活用など、日本透析医会との連携により遺漏なきようお願いいたします。

なお、本文については、貴県内関係部署への転送方併せてお願い致します。

担 当

厚生労働省健康局疾病対策課

電 話：03-3595-2249

FAX：03-3593-6223

担当者：菊岡課長補佐（技）、床枝係長（事）

ごろチェックしている気象情報システム株式会社のホームページ内全国地震情報（Web 版）⁵⁾より抜粋してメーリングリストに送信。

19 時 13 分

山崎親雄会長より災害時情報の収集体制をとるよう指示を受けるとともに、揺れの大きかった地方の

病院に電話確認中との連絡を受けた。

19 時 45 分

福島県支部太田西ノ内病院の入谷隆一氏より、「被災無し」との第一報（メーリングリスト）を受け、ホームページへ登録。

20 時 04 分

表 4 厚生労働省の対応 (3)

平成 15 年 5 月 26 日

東北厚生局保健福祉課 御中

厚生労働省健康局疾病対策課

東北地方を中心とした地震に関する人工透析の提供体制及び難病患者等への医療の確保体制について

本日、18 時 24 分頃、宮城県沖を震源とした地震が発生したところであるが、人工透析の提供体制及び難病患者等への医療の確保体制について、別添のとおり関係自治体及び日本透析医会へ送付したので、貴課におかれましても遺漏なきようお願いいたします。

担 当

厚生労働省健康局疾病対策課

電 話：03-3595-2249

FAX：03-3593-6223

担当者：菊岡課長補佐（技）、床枝係長（事）

東京支部秋葉隆先生より、日本透析医学会危機管理小委員会政金生人先生からの情報として「山形県内 30 施設中、夜間透析施行の主な 15 施設に被災無し」との情報をメールで受け、ホームページへ登録。

20 時 15 分

山崎会長より、厚生労働省健康局疾病対策課片岡穰先生のメールアドレスをメーリングリストに加えるよう電話にて指示あり、20 時 17 分登録。

20 時 23 分

透析医学会理事長内藤秀宗先生より、「具体的な被害が起り JSDT でできることがあれば、お申し出ください。CAPD 患者さんの被害も今は無い」との情報をメーリングリストにて受ける。

20 時 46 分

片岡先生より表 2~4 をメールにて受け、20 時 52 分このうち表 3 の文書をテキストにしてメーリングリストへ送信。

22 時 00 分

これまで、震度 6 であった岩手県と宮城県からの情報が無いため、「日本透析医学会施設会員名簿 2001 年版」を参考に作成してあった名簿をもとに、岩手県 34 施設あてに FAX ソフトを用いて送信開始。一部地域では電話が繋がりにくいとの情報もあったが、この時間には送信可能であった。

22 時 29 分

山崎会長より、「岩手県大船渡の地の森クリニックで透析液の供給が不能となり、30 人弱の透析の患者さんは途中で透析を打ち切った。不足した透析は明日改めて実施される予定。現時点では自施設内で全ての対応は可能」とのメールを受けホームページへ登録。

22 時 43 分

山崎会長より、「盛岡の三愛病院では大きな揺れではあったものの、特に問題なく透析は継続された」とのメールを受けホームページへ登録。

22 時 55 分

山崎会長より、「宮城県石巻市の宏人会石巻クリニックでは揺れはすごかったものの、全員無事で予定通りの透析が終了」とのメールを受けホームページへ登録。

00 時 04 分

岩手県への FAX 送信完了。宮城県 39 施設への FAX 送信開始。

02 時 30 分

宮城県 39 施設のうち、電話番号が使われていないなどにより FAX 送信不能であった 4 施設を除く 36 施設への FAX 送信完了。この日の情報収集活動を終了。

② 5月27日(火)

8時00分～

岩手県9施設、宮城県19施設からのFAXによる情報をホームページへ登録するとともに、登録時点での集計結果を各施設にFAXで報告した。

9時15分

東京支部(日本臨床工学技士会総務担当)金子岩和氏により、日本臨床工学技士会メーリングリストへ情報提供依頼。

18時30分

この時点で前日透析中断を余儀なくされた施設が2施設あったものの、この日代替透析がそれぞれの施設で施行可能な状況であった。

山崎会長より指示を受け情報収集体制を終了。

③ 5月28日(水)

岩手県3施設、宮城県2施設からの情報をホームページへ登録し、登録時点での集計結果を各施設に報告した。

3) 7月26日宮城県北部地震での透析施設情報

情報ネットでは、今までと同様、電子メール、ホームページ、FAXなどで情報収集を行った。特に揺れの大きかった宮城県の状況は、幸いにも石巻赤十字病院と宏人会石巻クリニックの一時停電のみで(24施設を集計)、代替透析要請が必要となった施設は無かった。なお、7月30日までにホームページの集計システムに掲載された情報の全文を、文末資料に示した。

4) 情報ネットの対応

① 7月26日(土)

0時13分頃と7時13分頃

地震発生。本部ではテレビ報道で地震を知った。

07時52分

福島県支部入谷氏より、「福島県内では今のところ支障は無いよう」との第一報(メーリングリスト)を受けた。

08時06分

メーリングリストとホームページに情報収集の開始を伝達。

09時02分

政金先生から「矢吹病院と宮城県永仁会病院は被

災無し」との情報をメールで受けた。

10時38分

再度メーリングリストへ、施設情報のホームページへの登録を要請。

13時00分～

宮城県内施設からその後施設情報登録が無いため、各施設へのFAX(図5)送信開始。

14時59分

宮城県支部弓田滋先生より、「宏人会石巻クリニックにて数十分の停電発生後復旧、中央クリニック、長町クリニック、木町病院には被害無し」との情報をメーリングリストで受け、ホームページに登録。

15時40分

片岡先生より厚生労働省保健局疾病対策課から、日本透析医会、東北6県の難病対策担当課、東北厚生局保健福祉課あてに、人工透析の提供体制に関する文書をFAX送信したとメールにて受けた。

16時56分

震度6弱の余震発生

18時05分

余震に関する情報を、気象情報システム株式会社のホームページ内全国地震情報(Web版)⁵⁾より抜粋してメーリングリストに送信。

20時00分

「日本透析医学会施設会員名簿2002年版」による宮城県40施設のうち、すでに情報が得られた5施設、通信エラーなどにより送信できなかった3施設を除く32施設にFAX送信を終え、この日の活動を終了した。この時点で得られた宮城県内の施設情報は9施設であった。

② 7月27日(日)

前日に送信したFAXの返信を受けるため待機した。報道では「最大10万戸が停電していたが現在はすべて復旧。断水は約12,900戸が続いている」とのことで、再度情報の提供をメーリングリストにて依頼したが施設情報は得られなかった。

③ 7月28日(月)

宮城県北部では、震度3～5の地震が続いている状況であった。本部では、特に震源に近いと思われる3施設に再度FAXを送信したが、いずれも被災なしと

のことであった。

12 施設からの FAX による情報をホームページへ登録するとともに、集計結果を各施設と 26 日に返信いただいた 9 施設に報告した。

④ 7月29日(火)

2 施設からの情報をホームページへ登録するとともに、集計結果を各施設に報告した。

19時29分

山崎会長より「避難している方が 3,000 名ほどの報道から考え、この中には数人～十数人の透析患者さんも含まれていると推測されることから、今しばらく情報提供を」との要請がメーリングリストで配信された。

⑤ 7月30日(水)

1 施設からの情報をホームページへ登録するとともに、集計結果を報告した。

17時00分

山崎会長より指示を受け情報収集体制を終了。

3 今後への課題

今回の地震では、鳥取西部地震と芸予地震の教訓から「全施設が情報ネットやホームページの存在を知らない」ことを想定して準備していた FAX ソフトと、施設名簿データベースが大変有用であった。FAX 送信の自動化は、情報収集に関する人員と時間を最小にすることができ大きな意義を持つ。しかしこれには電子化された全国の全施設の最新情報が必要で、現在そのようなものは無く、支部ごとに地域施設名簿の作成と更新をお願いしたい。また、ホームページ上にある情報収集・集計のシステムは、個々の施設で、自施設の状態を入力・送信すれば、その時点で、「ホームページに掲載した」ことになるため、情報伝達がより直接的で、かつ登録情報が自動集計されるため迅速である。特に、7月26日のように、1日に3回も大きな地震が発生するなど状況が転々とする場合はなおさらである。しかし、これは個々の施設がホームページにアクセスして情報送信をしていただくことが前提で、残念ながら今回の地震においても十分に活用されていなかった。

繰り返しになるが、幸いにも今回の地震では、透析

の一時不能または中止はあったものの、施設内で対応可能な被害にとどまった。しかし、個々の施設で対応が不可能となるような災害発生時には、発生から数時間から数日間は、大きな被害を受けた施設は何もできないと考えられることから、被災地周辺で透析施行可能な施設からの支援情報が、被災施設の特定や被災施設への対応へ向け重要となる。しかも、ここで得られた情報は、地域施設間の地理的状況が確認困難な遠隔地よりも、地域施設間でより重要な意味を持つと思われる。したがって、全国各支部にそれぞれの情報センターができ、本部はそれを後方からサポートする体制を目標に、地域における初動体制を初めとした防災対策策定、各施設からの自主的な情報提供およびその手段の確立、情報伝達訓練への参加を重ねてお願いしたい。

さらに、被災施設や被災地周辺施設に対する全国的なバックアップ体制、例えばボランティア派遣や物資の供給などに関する具体的な対応についても検討されていく必要があると思われる。

おわりに

今回の地震をきっかけに、日本透析医学会では透析医学会との連携をさらに強化することが確認され、日本透析医学会危機管理小委員会、統計調査委員の先生方とのメールネットワーク構築が進行中である。また、地域におけるホームページを利用した情報収集・集計システムの構築の促進と強化を目的に、専用サーバーをレンタルして新しいホームページも構築中である。今後ご理解とご協力をお願いしたい。

- 災害時透析医療対策部会災害時情報伝達ホームページ

<http://www.hf.rim.or.jp/~to-ikai/>

- 災害時情報伝達副本部ホームページ

<http://www4.osk.3web.ne.jp/~touseki/>

- 情報ネットワーク本部 連絡先

医療法人社団誠仁会 みはま病院

ME 部 武田稔男

to-ikai@hf.rim.or.jp

文 献

- 1) 吉田豊彦, 服部義博, 武田稔男: 災害時情報ネットワーク委員会記録. 日透医誌, 15(3); 351, 2000.
- 2) 消防庁ホームページ・災害情報. <http://www.fdma.go.jp/html/infor/index.html>
- 3) ZD ネットニュース. <http://www.zdnet.co.jp/broadband/0305/27/lp09.html>
- 4) 全国腎臓病協議会ホームページ. <http://www7.ocn.ne.jp/~ftikai/frame.html>
- 5) 気象情報システム株式会社ホームページ: 全国地震情報(Web版). <http://www.wis-x.co.jp/members0/jishin>
- 6) 阪神・淡路大震災を契機とした災害医療体制のあり方に関する研究会. 報告書: 153, 1996.

資 料

ホームページ情報システムによる集計結果 I
(5月26日の地震)

5月29日現在

1. 被災状況

[岩手県]

施設部分破損 3 施設 楽山会せいてつ記念病院
岩手県立遠野病院 後藤医院

[宮城県]

施設部分破損 1 施設 公立気仙沼総合病院
ガスの使用不可 1 施設 多賀城腎泌尿器クリニック

透析液供給装置使用不可 1 施設 やすらぎの里
サンクリニック

[被災状況合計]

施設部分破損 4 施設
ガスの使用不可 1 施設
透析液供給装置使用不可 1 施設

2. 主な不足物品 (人分)

[主な不足物品(人数分)合計]

ダイアライザ=0 血液回路=0 透析液
原液=0

3. 透析室貸出可能

[岩手県]

透析室貸出可能: 床数小計=62 楽山会せいてつ記念病院: 25 岩手県立中央病院: 1 岩手クリニック一関: 36

[宮城県]

透析室貸出可能: 床数小計=62 山本外科内科
医院: 27 やすらぎの里サンクリニック: 3 京極
クリニック: 5 中新田クリニック: 20 中山クリ

ニック: 5 多賀城腎泌尿器クリニック: 2
[透析室貸出可能床数合計=124]

4. 透析受け入れ可能

[岩手県]

●2003年05月27日透析受け入れ可能小計=52
済生会北上済生会病院: 2人 勝久会地ノ森クリニック: 10人 岩手県立中央病院: 2人 恵仁会三愛病院附属矢巾クリニック: 12人 小原クリニック: 4人 岩手クリニック一関: 2人 後藤医院: 20人

●2003年05月28日透析受け入れ可能小計=57
岩手県立遠野病院: 6人 種市町国民健康保険種市病院: 5人 済生会北上済生会病院: 2人 勝久会地ノ森クリニック: 5人 岩手県立中央病院: 2人 恵仁会三愛病院附属矢巾クリニック: 8人 小原クリニック: 3人 岩手クリニック一関: 6人 後藤医院: 20人

●2003年05月29日透析受け入れ可能小計=65
岩手県立遠野病院: 18人 種市町国民健康保険種市病院: 5人 済生会北上済生会病院: 2人 勝久会地ノ森クリニック: 5人 岩手県立中央病院: 2人 恵仁会三愛病院附属矢巾クリニック: 8人 小原クリニック: 2人 岩手クリニック一関: 3人 後藤医院: 20人

●2003年05月30日透析受け入れ可能小計=8
岩手県立遠野病院: 4人 種市町国民健康保険種市病院: 4人

[宮城県]

●2003年05月27日透析受け入れ可能小計=126
山本外科内科医院: 10人 仙台腎泌尿器科: 21人 東北大学医学部附属病院血液浄化療法部: 5人 宏人会中央クリニック: 18人 (医) 宏人会木町病院: 5人 古川市立病院: 10人 須藤内科クリニック:

4人 やすらぎの里サンクリニック：2人 公立佐沼総合病院：11人 京極クリニック：7人 中新田クリニック：20人 泉黒澤クリニック：5人 中山クリニック：6人 多賀城腎泌尿器クリニック：2人

- 2003年05月28日透析受け入れ可能小計=102
米山町国保病院：2人 山本外科内科医院：5人 仙台腎泌尿器科：21人 東北大学医学部附属病院血液浄化療法部：5人 宏人会中央クリニック：20人 古川市立病院：5人 須藤内科クリニック：12人 やすらぎの里サンクリニック：2人 公立佐沼総合病院：12人 京極クリニック：5人 泉黒澤クリニック：3人 中山クリニック：5人 多賀城腎泌尿器クリニック：5人

- 2003年05月29日透析受け入れ可能小計=125
米山町国保病院：2人 山本外科内科医院：10人 仙台腎泌尿器科：21人 東北大学医学部附属病院血液浄化療法部：5人 宏人会中央クリニック：18人 (医)宏人会木町病院：5人 古川市立病院：10人 須藤内科クリニック：4人 やすらぎの里サンクリニック：2人 公立佐沼総合病院：11人 京極クリニック：7人 中新田クリニック：20人 中山クリニック：8人 多賀城腎泌尿器クリニック：2人

[透析受け入れ可能合計]

2003年05月27日 = 178人
2003年05月28日 = 159人
2003年05月29日 = 190人
2003年05月30日 = 8人

5. 透析要請

[透析要請合計=0]

6. 患者移送手段

[岩手県]

移送不要 3施設 岩手県立遠野病院 盛岡赤十字病院 後藤医院
病院車 1施設 岩手県立中央病院

[宮城県]

移送不要 6施設 山本外科内科医院 仙台腎泌尿器科 石巻赤十字病院人工透析室 公立気仙沼総合病院 東北公済病院宮城野分院 泉黒澤クリニ

ク

一般車 1施設 中山クリニック
救急車 1施設 公立佐沼総合病院
病院車 1施設 多賀城腎泌尿器クリニック

[患者移送手段合計]

移送不要：9施設 一般車：1施設
救急車：1施設 病院車：2施設

7. ボランティア派遣可能

[岩手県]

臨床工学技士小計=2 岩手クリニック一関：2
看護師小計=3 岩手クリニック一関：2 後藤医院：1

[宮城県]

医師小計=3 仙台社会保険病院：3
臨床工学技士小計=11 宏人会中央クリニック：2 仙台社会保険病院：3 (医)宏人会木町病院：1 仙台赤十字病院腎センター：1 公立佐沼総合病院：1 中新田クリニック：1 泉黒澤クリニック：1 多賀城腎泌尿器クリニック：1
看護師小計=18 宏人会中央クリニック：5 仙台社会保険病院：5 (医)宏人会木町病院：1 東北公済病院宮城野分院：2 泉黒澤クリニック：3 多賀城腎泌尿器クリニック：2

[ボランティア派遣可能合計]

医師=3 臨床工学技士=13 看護師=21

8. その他不足物品や連絡事項等

[岩手県]

楽山会せいてつ記念病院：地震発生時、一時的な停電がありましたが、非常用電源で対応。その後、特に問題なく通常透析施行中です。

種市町国民健康保険種市病院：特に被災はありません。

恵仁会三愛病院：被害なし。

総合水沢病院透析センター：被災無し。

勝久会地ノ森クリニック：透析液供給装置が使用不能となり、本日夜代替透析を行うとのことです。(本部入力)

小原クリニック：ガスが使用不能になったが現在OK。

岩手クリニック一関：透析室は火木土16:00から

23:00 貸し出し可能。

後藤医院：特になし。

後藤泌尿器科皮膚科医院：今回での被害は特にありませんでした。

三島内科医院：震度 5 弱の揺れでしたが被害はありませんでした。沿岸部の施設で、一部被害がある模様です。災害時優先電話が連絡に役立ちました。

[宮城県]

仙台柳生クリニック：特に被害はありませんでした。

みやぎ清耀会緑の里クリニック：特に被害なし。エレベーターの緊急停止のみ。

米山町国保病院：なし

宮城利府掖済会病院：被災なし。

山本外科内科医院：被害なし。

宏人会中央クリニック：特に問題なし。

仙台社会保険病院：必要に応じて受け入れ可能。

石巻赤十字病院人工透析室：今回の地震による被害はありませんでした。

古川市立病院：災害緊急要請あれば、受け入れ可能。

仙台赤十字病院腎センター：本日複数人受け入れ可能。必要物品なし。連絡方法、病院からの通話は可能であったが、一般回線が不通であったため本院への連絡が一時途絶えた（18:35 から約 2 時間）。E-mail は通常通り使用できた。携帯電話は、NTT 東北（ドコモ）が 75% を遮断したためほとんど使用できず。

須藤内科クリニック：5 月 28 日は昼 6 名夜 6 名受け入れ可能。

やすらぎの里サンクリニック：お蔭様で大事には至りませんでした。

中新田クリニック：被災なし。

泉黒澤クリニック：2 時間前後で透析中止しましたが、次日午後にて施行（2 から 3 時間）。透析受け入れは、本日午後、明日は夜間。

中山クリニック：現在のところ特になし。

多賀城腎泌尿器クリニック：なし。

宏人会石巻クリニック：揺れはすごかったものの、通常に透析が継続され、全員無事で、予定通りの透析が終了し、帰宅された旨の情報が電話連絡で得られました。

[山形県]

矢吹病院腎透析センター：先ほどの地震につきまし

て、山形は震度 5 でしたが当院では特に被害はありませんでした。県内の夜間透析をやっている主な病院に（15 施設/30 数施設）に電話で被害状況を確認しましたが、大きな被害はありませんでした。

[福島県]

寿泉堂クリニック：今回の地震に際し、夜間透析を施行中でしたが、全く混乱なく透析が行われました。むしろどのタイミングで透析から離脱するか、難しさを感じました。

太田西ノ内病院：地震の揺れは比較的大きかったですが、当院（太田西ノ内病院）ではエレベーターも止まることなく被害の報告もありませんでした。やはり電話がつながりにくくなっていることが大きな問題のようです。

[栃木県]

奥田クリニック：当院でも揺れを感じましたが、被害はありませんでした。地震の揺れ初めは一部のサイトにつながらなかったのですが、現在は大丈夫です。

[千葉県]

みはま病院：当院でも揺れを感じましたが、被害はありません。

[山梨県]

鈴木泌尿器科医院：やや揺れを感じたが、特に支障なし。

[岡山県]

笛木内科医院：地震発生直後より東北ブロック各県特に岩手、宮城両県の対応に注目しておりました。被害は極めて少ないようで安堵しております。それにしても情報量が少ないのが気になります。

ホームページ情報システムによる集計結果Ⅱ

(7 月 26 日の地震)

7 月 29 日現在

1. 被災状況

[宮城県]

停電 1 施設 石巻赤十字病院

[被災状況合計]

停電 1 施設

2. 主な不足物品（人分）

[主な不足物品(人数分)合計]

ダイアライザ=0 血液回路=0 透析液原液=0

2003年07月30日 = 52人

2003年07月31日 = 2人

3. 透析室貸出可能

[宮城県]

透析室貸出可能：床数小計=33 公立佐沼総合病院：8 古川市立病院：10 中山クリニック：5 京極クリニック：5 仙台腎泌尿器科：5

[透析室貸出可能床数合計=33]

4. 透析受け入れ可能

[岩手県]

- 2003年07月26日透析受け入れ可能小計=1
岩手クリニック一関：1人
- 2003年07月28日透析受け入れ可能小計=1
岩手クリニック一関：1人

[宮城県]

- 2003年07月28日透析受け入れ可能小計=49
公立佐沼総合病院：8人 須藤内科クリニック：7人 やすらぎの里サンククリニック：1人 東北大学附属病院：5人 古川市立病院：10人 中山クリニック：6人 京極クリニック：7人 仙台腎泌尿器科：5人
- 2003年07月29日透析受け入れ可能小計=48
公立佐沼総合病院：8人 須藤内科クリニック：2人 やすらぎの里サンククリニック：1人 東北大学附属病院：5人 古川市立病院：20人 中山クリニック：6人 京極クリニック：4人 仙台腎泌尿器科：2人
- 2003年07月30日透析受け入れ可能小計=52
公立佐沼総合病院：8人 須藤内科クリニック：9人 やすらぎの里サンククリニック：1人 東北大学附属病院：5人 古川市立病院：10人 中山クリニック：7人 京極クリニック：7人 仙台腎泌尿器科：5人
- 2003年07月31日透析受け入れ可能小計=2
米山町国保病院：2人

[透析受け入れ可能合計]

2003年07月26日 = 1人
2003年07月28日 = 50人
2003年07月29日 = 48人

5. 透析要請

[透析要請合計=0]

6. 患者移送手段

[宮城県]

移送不要 2施設 公立気仙沼総合病院 仙台市立病院

病院車 1施設 中山クリニック

[患者移送手段合計]

移送不要：2施設
病院車：1施設

7. ボランティア派遣可能

[宮城県]

医師小計=1 東北大学附属病院：1
臨床工学技士小計=3 山本外科内科医院：1
東北大学附属病院：1 古川市立病院：1

[ボランティア派遣可能合計]

医師=1 臨床工学技士=3 看護師=0

8. その他不足物品や連絡事項等

[岩手県]

岩手クリニック水沢：今回の地震による被害はありませんでした。

岩手クリニック一関：7/26 今回の地震での被害なし。

[宮城県]

宮城利府掖済会病院：特に異常なし。

石巻赤十字病院：石巻地方に2時間ほどの停電が発生した為、エレベータが使用できず、重症患者の搬送に担架などを使用した。透析室の電源は瞬時に自家発電に切り替わり通常の治療を行った。その他特記事項なし。

山本外科内科医院：地震の次の日が日曜日だったため、貸出可能のベッド数、受け入れに関しては要請に応じて対応。

公立佐沼総合病院：当院被害はありませんでした。
やすらぎの里サンククリニック：今の所、日常業務に支障は出ておりません。

東北大学附属病院：被災なし。

中山クリニック：特になし。

緑の里クリニック：被害はありませんでした。

京極クリニック：当院では特に被害はありませんでした。

仙台腎泌尿器科：当院においては被害ありませんでした。

仙台赤十字病院腎センター：被災なし。5月26日に比し、TV・ラジオ等での情報は早かった。

仙台社会保険病院腎センター：当方では、通常の透析治療が可能でした。また、現在まで石巻・矢本・松島などの方面の施設から、援助・被災の連絡は入っていません。患者受け入れ依頼があった場合、夜間透析であれば、若干名の受け入れが可能と思われます。

仙台柳生クリニック：特に問題なく経過中です。

宏人会石巻クリニック：数十分の停電後、復帰。

宏人会木町病院：被害なし。

宏人会長町クリニック：被害なし。

宏人会中央クリニック：被害なし。

社会福祉法人一寿会仙萩苑クリニック：当苑は被災なし。

永仁会病院：被災なし。

[山形県]

医療法人矢吹病院：被災なし。

[福島県]

寿泉堂クリニック：なし。

公立岩瀬病院：被災なし。

[栃木県]

目黒医院：被害はありませんでした。

奥田クリニック：栃木県は被害無し。